

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	17週	16週	第17週		第16週		第17週		第16週		第17週		第16週		第17週		第16週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	402	452	63	49	31	18	23	16	20	9	0	1	3	3	40	32	8	6
咽頭結膜熱	26	13	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	192	154	38	0	13	0	12	0	6	0	0	0	0	0	26	0	7	0
感染性胃腸炎	256	273	73	20	83	18	73	9	79	13	0	8	0	4	0	3	4	1
水痘	18	19	0	5	5	9	0	1	5	8	0	2	0	1	0	2	0	0
手足口病	44	32	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	32	49	2	0	5	0	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	42	39	8	0	8	0	6	0	5	0	0	0	0	0	2	0	3	0
ヘルパンギーナ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	4	6	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0
RSウイルス感染症	31	46	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0		0
流行性角結膜炎	23	11	0	0	0	0	0	1	0	0		0		0		0		0

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況	
流行中	現在、感染性胃腸炎・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎流行が続いています。
小流行中	インフルエンザの小流行が続いています。

### 咽頭結膜熱に注意

咽頭結膜熱はアデノウイルスの感染により、発熱、結膜炎といった症状が来す、小児に多い病気です。通常6月頃から徐々に増加しはじめ、7~8月にピークを形成します。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるため、プール熱と呼ばれることもあります。暖かくなりプールや水浴びをする機会が増えてくる時期に注意が必要です。

#### ○症状

- ・発熱（38~39度）で発症し、高熱が比較的長く（5日前後）続くことがあります。
- ・頭痛、食欲不振、全身倦怠感が出現します。
- ・咽頭炎による咽頭痛が出現します。
- ・結膜炎にともなう結膜充血、眼痛等が3~5日間程度持続します。一般的に片方から始まり、その後他方にも出現します。

#### ○治療法

- ・特異的な治療法はなく、対症療法が中心となります。
- ・ほとんどは自然に治ります。
- ・吐き気、頭痛の強いとき、咳が激しいときは早めに医療機関に相談しましょう。

#### ○感染予防

- ・流行時には、流水と石けんによる手洗い、うがいをしましょう。
- ・感染者との密接な接触は避けましょう。（タオルなどは別に使いましょう。）
- ・衛生を保つため、プールからあがったときは、シャワーを浴び、うがいをしましょう。
- ・プールの塩素濃度を適正に維持しましょう。



学校保健安全法により第二種伝染病に位置づけられており、主要症状が消退した後2日を経過するまで出席停止とされています。※病状により伝染の恐れがないと認められたときはこの限りではありません。

